

(様式第4号)

上田市総合計画審議会（第3回市民生活・環境部会） 会議概要

1 審議会名	上田市総合計画審議会（第3回市民生活・環境部会）
2 日時	令和元年11月25日 午後1時30分から午後3時25分まで
3 会場	旧市民会館 2階 第3・第4会議室
4 出席者	樋口盛光部会長、関川久子副部会長、内堀敏高委員、田中利喜夫委員 藤川まゆみ委員、水出秀子委員、宮下勝久委員、宮島博仁委員、矢島昭徳委員
5 市側出席者	柳沢生活環境課長、佐藤資源循環型施設建設関連事業課長、土屋廃棄物対策課長、北島ごみ減量企画室長、小宮山住宅課長、馬場管理課長、三浦土木課長、嶋尾都市計画課長、竹内交通政策課長、三井建築指導課長、春原空家対策室長、若林建築課長、佐藤消防総務課長、宮島消防予防課長、宮原消防警防課長、城下経営管理課長、堀内給排水係長（山口サービス課長代理）、小井土上水道課長、藤極下水道課長、越浄水管理センター所長、田中危機管理防災課長、松木生活環境課生活安全担当係長、神保生活環境課生活安全担当係長、両角管理課庶務係長、青井経営管理課庶務係長、齋藤消防総務課総務担当係長、星野危機管理防災課危機管理防災担当係長、林危機管理防災課危機管理防災担当係長、田中政策企画課主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年11月26日

協 議 事 項 等

1 開 会（柳沢生活環境課長）

2 部会長あいさつ（樋口部会長）

委員の考え方、意識を統一したい。

与えられた時間の中で、有意義な議論をしていく。

部会長の権限を持って進めさせていただく。

審議時間に終わらない場合は、事務局提案のまま、審議が終わったということとする。

3 議事

(1) 分野別意見聴取（市民意見の集約）について

- ・事務局から「上田市消防団」を提案
- ・「異議なし」の声あり
- ・開催日は次回の部会の冒頭に行う予定

(2) 「前期まちづくり計画」の進捗状況及び「後期まちづくり計画」に向けた方向性等について

- ・前回の続き、2-2-3 から事前に提出していただいている意見に対する回答のみ事務局から説明

2-2-3 安全・安心に暮らせる環境の整備

- ・資料に沿い、馬場管理課長から説明
- ・以降、協議

(委 員) (歩道や) 自動車道の整備について、自動車優先でない都市計画という面でも「拡大・充実」の方向性にすべきと考える。

(事務局) 自転車通行帯（レーン）の設置については、地域の協力、用地の確保が必要。現実的には拡大・充実とはいかない。整備路線については、県と協力しながら進めていきたい。

(委 員) 河川・排水路の整備について、千曲川の護岸を今後どうしていくのか見えない。

(事務局) 千曲川改良期成同盟会では国に対して改修の要望をしている。千曲川について盛り込んで記載していく。

2-2-4 緑豊かな魅力ある都市環境の創出

- ・資料に沿い、嶋尾都市計画課長から説明
- ・以降、協議

(委員) 都市公園のバリアフリー化について、櫛下観光駐車場から二の丸までのバリアフリー化に対し、もう少し配慮した対策をお願いしたい。

(事務局) 上田城跡公園内は「史跡」という制約があり、手を付けることが難しい。それ以外の所でバリアフリー化や利便性を高める対策を行っている。できる範囲で検討していきたい。

(委員) 都市緑化の推進について、市街地に緑をどのように増やす計画か。

(事務局) 開発を行った場合は一部に緑地を設けることとしている。また、街路樹を増やしている。公募設置管理制度や市民緑地認定制度など、民間の土地を活用しながら緑地を増やしていきたい。

2-2-5 安定した経営による上水道・下水道事業の継続

- ・資料に沿い、城下経営管理課長から説明
- ・以降、協議

(委員) 汚泥処理過程で発生する消化ガスの有効利用について、消化ガスが余るのであれば、ガス自動車を増やす方向性はどうか。

(事務局) ガス自動車は同じ車種と比べると、倍のコストがかかる。また、ガスを供給する設備もコスト高になってしまう。

2-2-7 地域防災力の向上と災害対応能力の強化

- ・資料に沿い、佐藤消防総務課長及び田中危機管理防災課長から説明
- ・以降、協議

(委員) 台風19号災害を受けて、太陽光パネルが設置されている避難所は、操作方法が周知されているのか。

非常電源確保について、今回の計画にも記載してはどうか。

(事務局) 避難所開設担当職員に操作方法を周知している状況にはなっていない。

必要に応じ施設管理者と協議をしていく。

様々なエネルギーの使い方が出てきているので、施設を建設する際に検討していく。

(委員) 停電時にどうするのか、検討をしてほしい。

(委員) 災害時は、公助にばかり頼ることはよくない。「自助」「共助」が大切だと思う。

女性を避難所の運営に入れていただければ、女性目線で対応ができる。

(事務局) 自助・共助・公助が合わさって災害対応をすることにより、被害も最小限に抑えることができる。連携を取りながら対応していきたい。

(委員) 女性にも配慮した避難所の運営が期待できる。

(委員) 消防団員の確保について、消防団も努力しているが、法律により市長が責任をもって団員を確保することが国から示されている。

団員確保は、消防団員自らもやることではあるけれども、「市民」が消防団員を確保していくという意識付けが必要だと思う。記載された文章では弱いと感じる。

少子化を踏まえて、消防団組織をどうしていくかという議論はあるが、自治会では何人団員が必要なのか、みんなで意識を共有していける文章になればいいと思う。

避難所での情報の伝達がうまくいかなかったので、周知できる方法の検討を。

(部会長) 後期まちづくり計画素案には前向きな文章の検討をお願いしたい。

台風 19 号災害では、市の職員は何人くらい動員されたのか。

(事務局) まだ検証作業に入れていないので、正式な人数はカウントされていない。

(委員) 最近になって丸子、真田、武石の台風 19 号災害による被害状況がわかってきた。FM ラジオをどうして使わなかったのか。

(部会長) 災害中に災害現場の情報を発信することは危険が伴い不可能であるし、すべきでない。近づくことすらできない現場もあったので、すべての情報を発信することは不可能。

2-2-6 犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進

- ・資料に沿い、柳沢生活環境課長から説明
- ・以降、協議

(部会長) 交通安全について、市役所東側の路上駐車帯に許可車以外の車が駐車されており危険である。新庁舎の駐車場整備に合わせ必要性を判断していただきたい。

まとめ

(部会長) 全体の中で、新庁舎建設により文章を書き換える必要があるのか、検討をしていただきたい。

次回の部会において、委員の意見を反映した後期まちづくり計画の素案を示していただくようお願いする。

4 事務連絡

- ・今後の開催日について柳沢生活環境課長から説明

第4回開催日 令和元年12月17日(火) 午後1時30分から 旧市民会館 第3・4会議室

第5回開催日 令和2年 1月22日(水) 午後1時30分から 旧市民会館 第3・4会議室

- (部会長) 次回の部会に向けて事前に質問を受け付けることは可能か。
時間の効率化を図りたい。出せる委員の分だけでも受け付けられないか。
- (事務局) 回答書まではできないが、担当部署へつなぐことはできる。
会議の開催通知に期限等を記載させていただく。

5 閉会 (柳沢生活環境課長)

(閉会時間 午後3時25分)